

理工情報生命学術院数理物質科学研究群

2021年度つくば共鳴教育（新オナーズ）プログラム募集要項（追加募集）

1. 教育プログラムの趣旨

「つくばナノテク拠点産学独連携人材育成プログラム」の後継プログラムとして、理念及び教育の方法を引き継ぎ、継続的な人材育成を行う。近未来の産業競争力は、それに係わる人材の育成に掛かっていると言っても過言ではない。そのためには、異なるカルチャーを持った基礎から応用に至る産・学・独の研究者の連携と異分野の研究者の協働による人材育成が重要である。

本プログラムでは、人材と研究施設の揃っているつくば地区に数理物質科学の世界的拠点を創り出し、国際的競争力のある高度な連携教育研究を展開して次世代の数理物質科学をリードする人材を育成する。数理物質科学研究分野において、世界のトップリーダーに不可欠な3つの力（基礎力、俯瞰力、課題発掘力）を養う教育プログラムである。

2. 追加募集について

新型コロナウイルスの感染拡大を受けた本邦及び本学の海外渡航の制限を受けて、2020年度・2021年度ともに本プログラムによる学生の海外渡航は行われなかった。

2021年7月2日付「学生の海外留学について（通知）」により、諸条件を満たしたうえで海外渡航を申請する学生に対して、本プログラムの追加募集を行うこととする。

3. 概要

(1) プログラムの教育方法（研究群必須）

1) 連携コーディネーターの配置（マルチメンター）

技術・知・人の流れを起こし基礎科学と応用科学の共鳴場を形成させる。

2) 3～4か月にわたる海外留学

研究分野により選択

3) 海外著名教授による夏季集中講義の受講

4) ナノテクノロジー・ナノサイエンス関連の国際シンポジウムの参加

5) TIA 構成機関のインフラ活用を活用した教育

6) TIA 構成機関との連携研究を活用した教育

7) 国内シンポジウムにおいて成果発表の実施

8) 各学位プログラム・サブプログラムで定める概要及び修了要件に指定される教育

(2) 海外渡航に係る支援

60万円を上限に往路航空券・滞在費等（2022年3月までに支出したものに限り。）を支援する。

(3) 追加募集に係る留意事項

1) 海外渡航時期・期間

2021年8月1日以降に海外渡航し、今年度末において各学位プログラムが要件とする滞在期間を充足すること。

2) 対象年次

理工情報生命学術院数理物質科学研究群学位プログラム・サブプログラムの博士後期課程の1年次及び2年次学生を対象とする。2年次学生についても各学位プログラム・サブプログラムが指定する要件を全て充足することを修了の要件とする。
(※前期課程の科目履修がある場合があるため注意すること。)

3) 申請時期

2021年8月1日以降に既に渡航をしている学生の申請も可能とする。その場合学生は渡航後に本プログラムへの採択の可否が決定されることを了承の上、申請することとする。

4. 申請書類及び提出締切

1) 申請書類・締切・提出方法

各学位プログラム・サブプログラムが指定する日時までに「応募申込書」を研究群WEBページまたはmanabaよりダウンロードし各学位プログラム・サブプログラムが指定する提出先に提出する。併せて指導教員に「推薦書」の作成・提出を依頼する。

5. 選考結果

9月10日(金)に学位プログラム・サブプログラムを通じて通知

6. 採択後の留意事項

- 1) 学生は、学位プログラムリーダー(サブプログラムリーダー)および学務委員に海外派遣での課題(授業のとり方、帰国報告書等)について派遣前に必ず確認する。
- 2) 旅費を支給するため、領収書をTIA推進室に提出する。予算を超える経費については、研究室の予算等で負担してください。
※支給可能なもの: 往路航空券代、現地宿泊費、予防接種代、空港までの往路交通費、OSSMAセット型留学保険加入費用、派遣先大学でのキャンパス保険料、ビザに係る費用、日当月額4万円、学費(本学より直接送金のため請求書類をなるべく早く提出する)。
- 3) 現地より2週間ごとの近況報告をメールでおこなう。

以上